

☆ 下肢血管治療の紹介 ☆

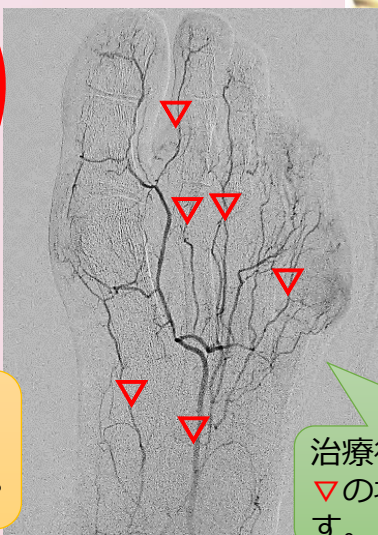
当院の血管撮影室では、下肢動脈に対するカテーテル治療を多くおこなっています。主に細くなり血流が少なくなった血管に対して、バルーン（風船のようなもの）で血管を拡張し、血行を改善させる治療を行います。当院では医師の他に診療放射線技師、臨床工学技士、臨床検査技師、看護師などのコメディカルスタッフがー丸となって治療に当たっています。

《治療前》



全体的に血色が悪く、○の部位は赤黒くなっています。

《治療後》



足の血色が良くなり、○の部位も改善がみられます。

治療後では、▽の場所で血流がみられます。

☆ 担当医師からの一言 ☆



循環器内科
佐竹晃徳 医師

当科は、下肢閉塞性動脈硬化症、いわゆる足の症状で困られている方の治療に力を入れております。特に足に傷がある場合、そのまま放置しておくと大切断(踵より上での切断)の可能性があります、大切断になってしまった方の日常生活の質はかなり低下し、その後の死亡率も上昇することが知られています。大切断を防ぐには足の血管治療が最も効果があるとされており、治療方法としてはカテーテル治療と外科的バイパス手術の2種類があり、当科ではカテーテル治療をしています。カテーテル治療は局所麻酔で出来るメリットがございます。外科的治療が良いと判断した場合は専門病院へご紹介もしております、早期発見・早期介入が必要です。足の傷でお困りの際はいつでも当科外来に来ていただければと思います。

血管撮影 STAFF
診療放射線技師 7名



放射線部ウェブサイトは
こちらのQRコードから

http://www.meiyokai.or.jp/rad_hp/



CT・MRI検査など緊急の場合は個別相談にて対応させていただきます。お気軽にお問い合わせください。

ご予約・お問い合わせは
地域医療連携室まで

TEL 0532-31-2528

FAX 0532-31-2279

受付時間

8:30~17:30 (月~金)

8:30~12:30 (土)

